※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和８年度　地歴科

教科	地理・歴史	科目	世界史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「世界史探究」　（実教出版）						
副教材	「最新世界史図説タペストリー」（帝国書院）						

1　担当者から生徒へのメッセージ

・世界の歴史を知り、自分自身の明るい未来を切り開いていく、具体的な道しるべとなるように学習してもらいたい。
・評価に関して定期考査はもちろんだが、教科書、資料集を読み取る力、授業中に実施するプレゼンテーションやグループワークの結果も含まれる。原始・古代から中世まで学習して、世界史を好きになってもらいたい。

2　学習の到達目標

a:原始・古代からの歴史の変化に関わる諸事象について、世界を広く相互的な視野から捉え、教科書・資料を活用しながら世界の歴史について理解できる。
b:原始・古代からの歴史を考察、構想する学習を通じて、広い視野に立ち、自分の考えを資料等活用しながら確立できる。またはグループ活動等で自分の考えを表現することができる
c:授業での積極的な発言やグループ活動で協調性をもって取り組むことができる。グループ活動結果の発表や発表のサポートについて自分なりに工夫して役割を遂行することができる。また個人の提出物、グループで作成した提出物もしっかりできている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・原始・古代からの歴史の変化に関わる諸事象について、世界を広く相互的な視野から捉え、自分の考えで理解できる。 ・諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・古代・原始からの歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ・考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	・原始・古代からの歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ・原始・古代からの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 ・よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	第１章 古代文明	１農耕と牧畜のはじまり ２オリエント文明 ３インダス文明 ４中国文明	a 農耕と牧畜は、いつ、どのようにして始まり、その後、世界各地にはどのような特徴をもった古代文明が成立したのかを理解できる。 b 農耕と牧畜は、いつ、どのようにして始まり、その後、世界各地にはどのような特徴をもった古代文明が成立したのかを、諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c 農耕と牧畜は、いつ、どのようにして始まり、その後、世界各地にはどのような特徴をもった古代文明が成立したのかを、グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動
１学期	第２章 東アジアと中央ユーラシア	１春秋・戦国時代の変動 ２中国古代帝国と東アジア ３中央ユーラシアの国家形成 ４胡漢融合帝国の誕生	a 東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について理解する。 b 東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色について諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c 東アジアと中央ユーラシアの古代国家はどのようにして生まれたのか、また古代国家の誕生と発展が社会と文化に与えた影響や、それによって生みだされた地域の特色についてグループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動
１学期	第３章 南アジアと東南アジア	１インド古典文化の形成 ２古代の東南アジアと海のシルクロード	a 古代の南アジアと東南アジアにはどのような国家や宗教が成立・展開し、二つの地域はどのような形で結びついていたかを理解する。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ

※令和４年度以降入学生用

			b 古代の南アジアと東南アジアにはどのような国家や宗教が成立・展開し、二つの地域はどのような形で結びついていたかを諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c 古代の南アジアと東南アジアにはどのような国家や宗教が成立・展開し、二つの地域はどのような形で結びついていたかを、グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。			活動
2学期	第４章 西アジアと地中海周辺	１オリエントの統一 ２ギリシア文明 ３ヘレニズム時代 ４ローマ帝国 ５西アジアの国々と諸宗教	a 様々な王朝や国家が興亡を繰り広げた古代の西アジアと地中海周辺の歴史が、どのように関係しながら展開したのかを理解する。 b さまざまな王朝や国家が興亡を繰り広げた古代の西アジアと地中海周辺の歴史が、どのように関係しながら展開したのかを諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c さまざまな王朝や国家が興亡を繰り広げた古代の西アジアと地中海周辺の歴史が、どのように関係しながら展開したのかをグループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動
2学期	第５章 西アジア・地中海周辺の変動とヨーロッパの形成	１ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ２ラテン・カトリック圏の形成と展開 ３イスラーム圏の成立	a ローマ帝国の西部支配が終焉を迎えたのち、西アジアや地中海周辺、ヨーロッパには、どのような特徴を持つ宗教圏が成立したか理解する。 b ローマ帝国の西部支配が終焉を迎えたのち、西アジアや地中海周辺、ヨーロッパには、どのような特徴を持つ宗教圏が成立したか, 諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c ローマ帝国の西部支配が終焉を迎えたのち、西アジアや地中海周辺、ヨーロッパには、どのような特徴を持つ宗教圏が成立したか, グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動

※令和４年度以降入学生用

２学期	第６章 イスラーム圏の拡大とヨーロッパ社会の変容	１イスラーム圏の多極化と展開 ２ラテン・カトリック圏の拡大 ３ラテン・カトリック圏の動揺と秩序の変容	a イスラーム圏の拡大が、ヨーロッパの政治や文化にどのような影響をもたらしたのかを理解する。 b イスラーム圏の拡大が、ヨーロッパの政治や文化にどのような影響をもたらしたのかを諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c イスラーム圏の拡大が、ヨーロッパの政治や文化にどのような影響をもたらしたのかを、グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動
３学期	第７章 中央ユーラシアと諸地域の交流・再編	１中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 ２モンゴル帝国の成立 ３東南アジア諸国の再編 ４海域世界の展開と大交易圏の成立	a 中央ユーラシア諸民族がどのような国を建て、アジア諸地域の歴史にどのような影響を与えたのかを理解する。 b 中央ユーラシア諸民族がどのような国を建て、アジア諸地域の歴史にどのような影響を与えたのかを、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c 中央ユーラシア諸民族がどのような国を建て、アジア諸地域の歴史にどのような影響を与えたのかを、グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動
３学期	第８章 大交易時代	１明と東アジア ２ヨーロッパの海外進出 ３大交易時代の海域アジア	a 大交易時代はどのようにして始まり、その担い手はどのように推移していったのかを理解する。 b 大交易時代はどのようにして始まり、その担い手はどのように推移していったのかを諸資料から読み取り、多面的・多角的に考察し、表現できる。 c 大交易時代はどのようにして始まり、その担い手はどのように推移していったのかを、グループ活動を通じて主体的に学ぶことができる。	定期考査 授業態度 小テスト	定期考査 授業態度 グループ活動	ワークシート 授業態度 グループ活動

＊ 表中の観点についてａ：知識・技能　ｂ：思考・判断・表現　ｃ：主体的に学習に取り組む態度